



CL-1200



CL-1208/1216/1758



KL9108/9116



KL1116/3116

富士通製サーバ「PRIMERGY」「PRIMEPOWER」と ATEN LCD ドロワーの 接続検証結果報告書

ATEN ジャパン株式会社
技術サポート部

1. 検証概要

PRIMERGY シリーズと PRIMEPOWER との混在 OS 環境、および PS/2 と USB の混在インターフェイス接続による環境にて ATEN LCD ドロワーシリーズとの組合せによる動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2007年1月10日～1月23日

2007年2月23日～3月8日

3. 検証装置

型番	概要
CL-1200L	15 インチ LCD コンソールドロワー
CL-1200M	17 インチ LCD コンソールドロワー
CL-1208L	15” LCD、PS/2 対応、8 ポート KVM 内蔵
CL-1208M	17” LCD、PS/2 対応、8 ポート KVM 内蔵
CL-1216L	15” LCD、PS/2 対応、16 ポート KVM 内蔵
CL-1216M	17” LCD、PS/2 対応、16 ポート KVM 内蔵
CL-1758L	15” LCD、PS/2・USB 対応、8 ポート KVM 内蔵
CL-1758M	17” LCD、PS/2・USB 対応、16 ポート KVM 内蔵
KL1116	17” LCD、PS/2 対応、16 ポート KVM 内蔵、デュアルスライド
KL3116	17” LCD、PS/2・USB 対応、16 ポート KVM 内蔵、デュアルスライド、USB ポート搭載
KL9108	17” LCD、PS/2 対応、8 ポート KVM 内蔵、デュアルスライド、IP リモート機能
KL9116	17” LCD、PS/2 対応、16 ポート KVM 内蔵、デュアルスライド、IP リモート機能

4. サーバ構成

型番	OS
PRIMERGY RX100 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY RX100 S3	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY RX300 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY RX600 S3	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY RX600 S2	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY TX200 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY TX200 S3	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMEPOWER 250	Solaris 10 OS

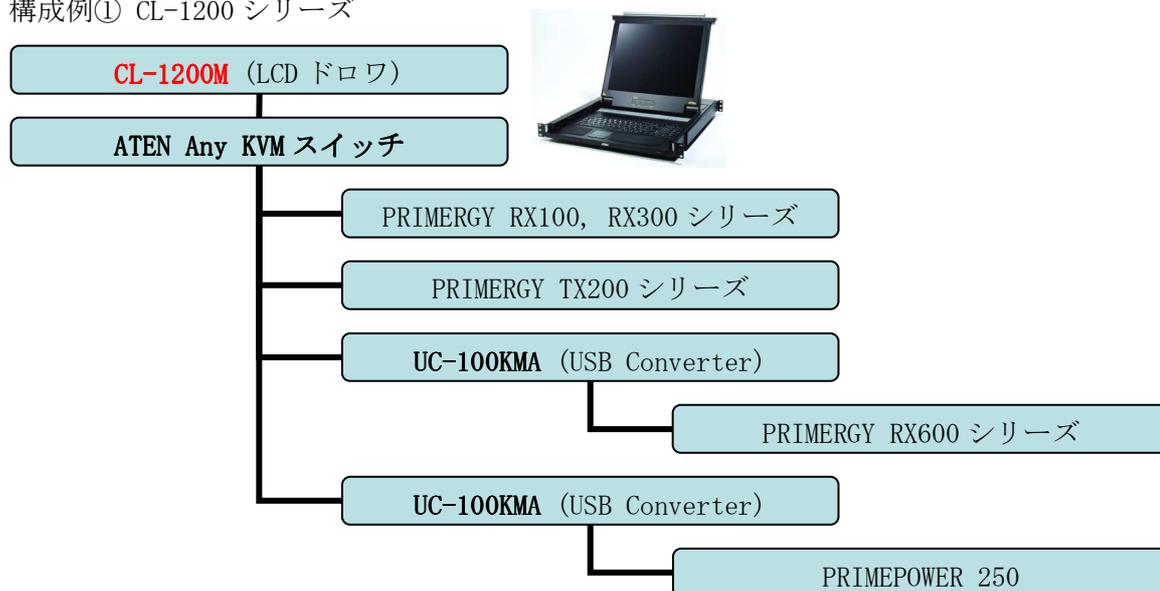
5. 検証項目

- A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認
- B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性
- C) LCD 画面の表示
- D) サーバ側接続に USB 対応 KVM ケーブルまたは、USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し動作確認
 ※Solaris 10 OS 側は CL-1758 および UC-100KMA のみ可能
- E) Windows Server 2003、Red Hat Linux、Solaris 10 OS の OS 混在環境による動作確認
- F) サーバ側接続に USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し正しくホットプラグ

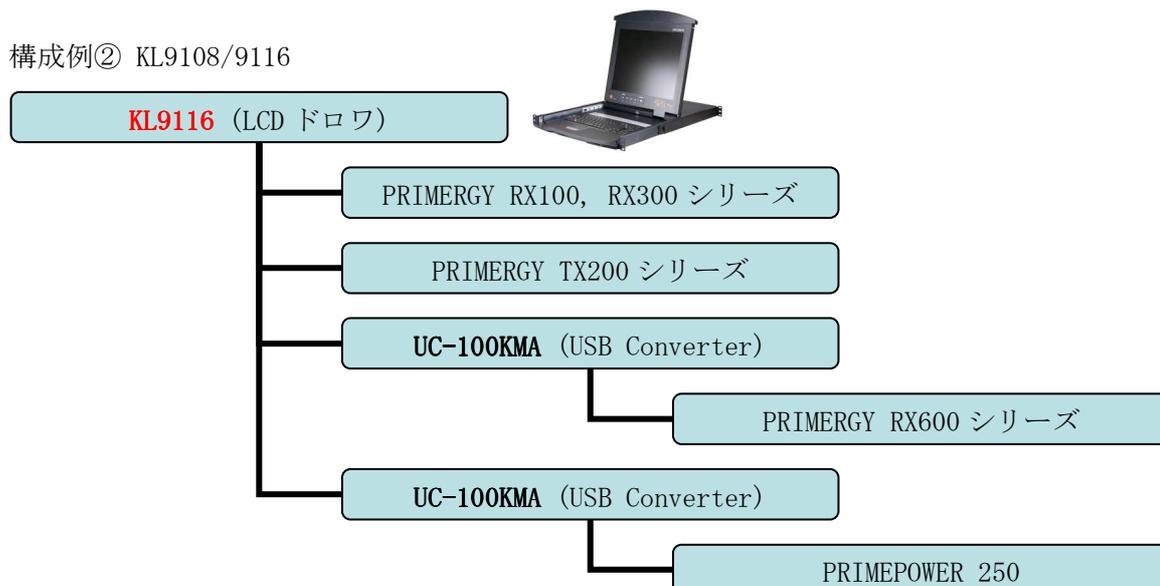
- G) LCD ドロワ側タッチパットの動作確認
- H) KVM デイジーチェーン時の動作確認
※KL1116/3116 のみデイジーチェーン接続可能
- I) PS/2 と USB のインターフェイス混在環境による動作確認
- J) IP リモート経由による動作確認
※KL9116 のみ IP リモート操作可能

6. 構成図

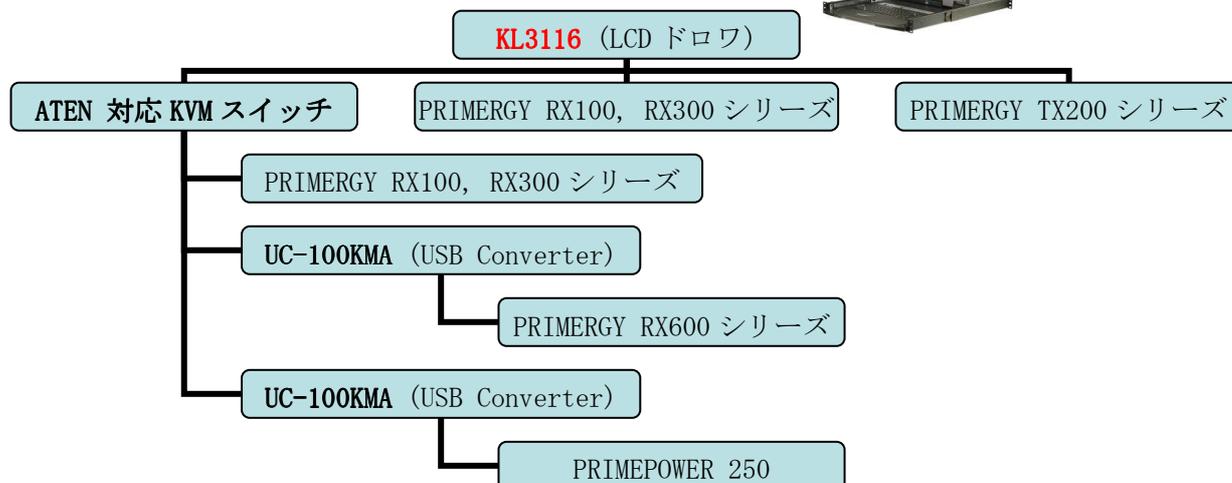
構成例① CL-1200 シリーズ



構成例② KL9108/9116



構成例③ CL-1208/1216/1758, KL1116/3116



7. 接続方法

- CL-1200M(LCD ドロワー)と KVM スイッチ(PS/2 対応 KVM)間は、ドロワ同梱 PS/2 対応 2L-5202P ケーブルを使用し接続します。
- KVM スイッチから各サーバ間は、PS/2 接続時と USB 接続時の二通りがあります。
PS/2 接続時は、PS/2 対応 KVM ケーブルにて接続します。
USB 接続時は、USB 対応 KVM ケーブルにて接続します。
PRIMEPOWER(Solaris 10 OS)との接続は、KVM 側が Sun に対応していない場合は PS/2 対応 KVM ケーブルと USB コンバータ UC-100KMA との組合せにて接続します。

8. 検証結果

A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認

・コールドスタート時

サーバ側シャットダウン後に接続されている全てのケーブル類(電源ケーブル含む)を切り離し、しばらくの時間(数分~数十分)経過後に全てのケーブル類を接続し、スタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・ホットスタート時

サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウンとスタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・リブート時

サーバ側に対して、リブート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性

テキストエディタを起動し、各キーを押し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認致しました。

※補足：PRIMEPOWER と KL9108/9116 および USB コンバータ UC-100KMA を使用する際は、SET OPERATIONG SYSTEM を SUN に、KEYBOARD LANGUAGE を日本語に設定する必要があります。この設定は KL9108/9116 側 OSD 画面、UC-100KMA 側ホットキーより設定可能となっております。

Solaris 10 OS 側の独自キーに関しても上記設定により、ホットキーにより可能となっております。

C) LCD 画面の表示

BIOS 画面、起動時画面、稼働時画面、スクリーンセーバー、ブランク画面の全てを確認しましたが、すべて正常に表示しておりました。

D) サーバ側接続に USB コンバータ (UC-100KMA) または、USB 対応 KVM ケーブルを使用し動作確認

PRIMEPOWER 250, PRIMERGY RX600 S3 は USB 接続に限りますが、正常動作しておりました。同様に、PRIMERGY RX100 S2/S3, RX300 S2, RX600 S2/S3, TX200 S2/S3 においても正常動作しておりました。

E) Windows Server 2003、Red Hat Linux、Solaris 10 OS の OS 混在環境による動作確認

Windows Server 2003, Standard Edition (SP1) サーバ、Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4 for x86) サーバ、および Solaris 10 OS サーバの混在環境による、それぞれの動作確認を致しました。どちらの OS 環境においても、正常動作を確認致しました。

F) サーバ側接続に USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し正しくホットプラグ

RX100 S2/S3, RX300 S2, RX600 S2/S3, TX200 S2/S3 の各サーバ稼働時に USB コンバータを数度抜き差し致しました。サーバ側の USB ホットプラグが正常動作し、正しく再認識することを確認致しました。

※補足：Solaris 10 OS 側では、OS 稼働中にコンソールであるキーボード・マウスの抜き差しを許可している記述が見当たりませんでしたので、この検証は実施しておりません。

G) LCD ドロワ側タッチパットの動作確認

サーバ側のデバイス認識にて、LCD ドロワ側タッチパットを OS 標準の「PS/2 互換マウス」として認識しておりました。タッチパットの全ての動作において、正常動作を確認致しました。

H) KVM デイジーチェーン接続時および、KVM カスケード接続時の確認

※CL-1208/1216, KL1116/3116 のみデジチェーン接続可能

※CL1758 のみカスケード接続可能

ACS-1216A または KH0116 とデジチェーン接続による他段階構成にて、サーバ操作に対する動作確認を致しましたが、1 台構成時と差異は無く、正常動作を確認致しました。

CS-1754/1758 とカスケード接続による他段階構成にて、サーバ操作に対する動作確認を致しましたが、1 台構成時と差異は無く、正常動作を確認致しました。

I) PS/2 と USB のインターフェイス混在環境による動作確認

KVM スイッチに対して、PS/2 対応 KVM ケーブル、USB 対応 KVM ケーブル、または PS/2 対応ケーブル + USB コンバータ (UC-100KMA)、それぞれを接続しサーバ操作に対する動作確認を致しました。PS/2 と USB の混在環境による構成時において、正常動作を確認致しました。

J) IP リモート経由による動作確認

※KL9116 のみ単体にて IP リモート操作可能

KL9116 に対してローカルエリアネットワークによる IP リモート操作を致しました。全ての操作においてローカル操作と差異無く正常動作を確認致しました。

9. 富士通サーバラック設置検証



上記は、CL-1200M を 2 種類の富士通製サーバラックに設置した写真です。



上記と下記は、KL3116 を 2 種類の富士通製サーバラックに設置した写真です。



KLシリーズの特徴としてLCD部分とキーボード部分を別々に引き出せるデュアルスライドがあります。例えばLCD部分のみ引き出しLCDを立てた状態でラックの扉(要ガラス張り等)を閉めてもモニタリング可能になります。

※ATEN製品をラックに設置する場合のチェック項目

- 19"ラックであること
 - EIA規格に準拠していること
 - ドrawer設置にはラック内の支柱間の距離によりイージーセットアップラックマウントキットが違い、必要な長さを選択します。(ショート:42~70cm / ロング:68~105cm)
- 上記、富士通ラックの場合はロングのタイプで設置可能

お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部

〒116-0003 東京都荒川区南千住 3-8-4 ATENビル

Tel: 03-5615-5811 Fax: 03-3891-3810 Email: support@atenjapan.jp URL: www.atenjapan.jp